

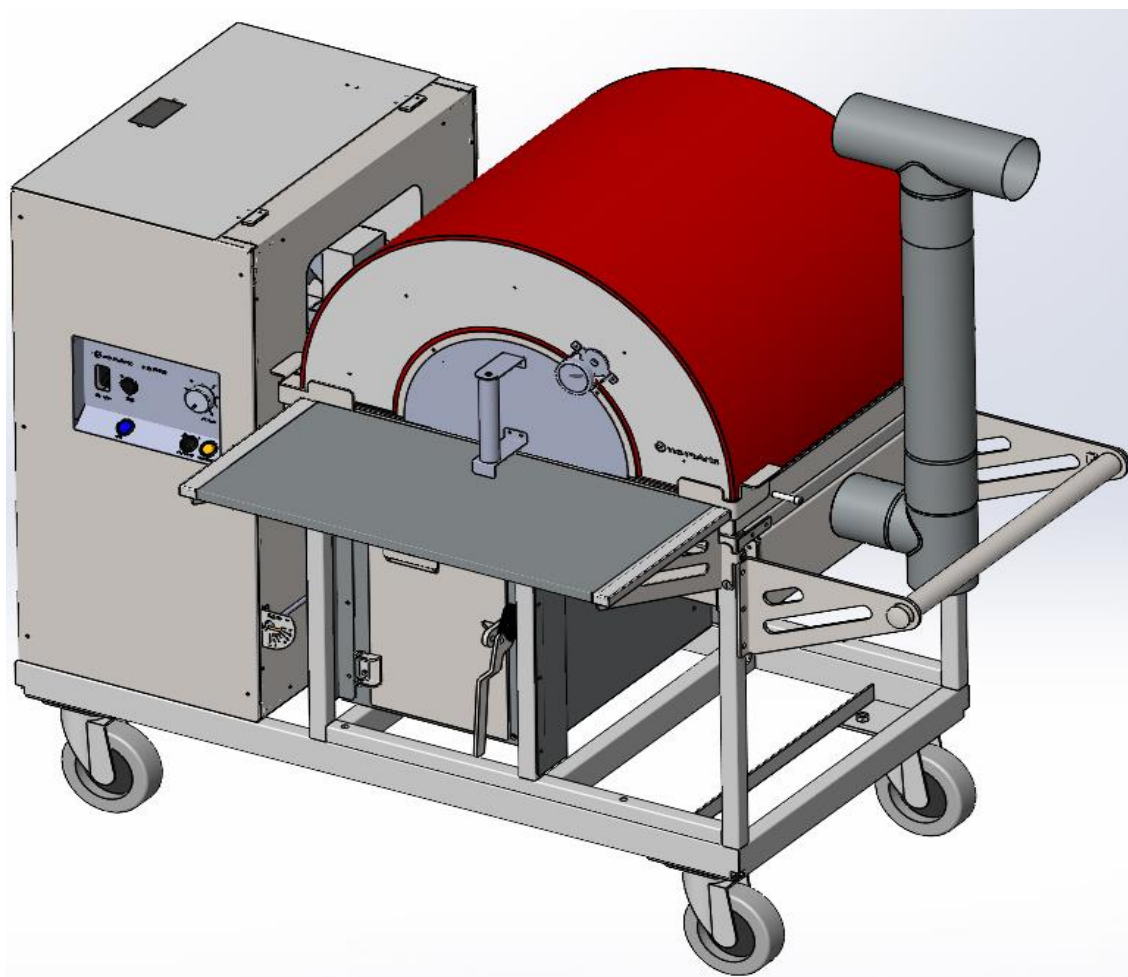
ペレット窯 PGY16

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をお読みください。
 ご一読後も、お使いになる方がいつでも確認できる所に大切に保管してください。

もくじ

1、ご安全にお使いいただく為に	P2~4
2、各部の名称	P5
3、ご使用方法	P6~8
4、メンテナンス	P8
5、オプション品	P9
6、配線図	P10
7、故障・異常の見分け方と処置方法	P11
8、燃焼の仕組み	P12
9、製品仕様	P12
10、メモ	P13



1、ご安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、物的侵害を未然に防ぐために
お守りいただく内容の種類を、次の絵で表示し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。













この絵表示は、「注意」していただく内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

火災防止の禁止事項

-  **木質ペレット燃料以外使用厳禁**
燃料タンク内には木質ペレット燃料以外の固形燃料や、液体燃料(灯油、ガソリン、軽油、アルコール、ベンジン等)は絶対に入れないでください。火災の原因となります。
-  **人のいない場所での使用厳禁**
ペレット窯は調理用として作られたものですので、適した場所でご使用ください。
-  **使用中の燃焼炉扉開放厳禁**
点火後は燃焼炉扉が確実に閉められていることを確認してください。燃焼中、外れ・すき間があると排ガスや炎が漏れて火災が発生するおそれがあります。
-  **衣類の乾燥厳禁**
ペレット窯付近で衣類を乾かさないでください。衣類等がペレット窯の熱で燃え、火災となります。
-  **可燃物近接厳禁**
調理に関わらない燃えやすいものを近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。
-  **水かけ・水濡れ厳禁**
ドーム・燃焼炉・タンク部等に水をかけないでください。漏電、やけど、部品破損につながるおそれがあります。
-  **スプレー缶厳禁**
スプレー缶やカセットコンロ用のボンベなどをペレット窯付近に放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発する危険性があります。
-  **寄りかかったり、物をのせない**
機器の上ののったり、寄りかかったりしないでください。機器の故障ややけどのおそれがあります。機器の上に水を入れたものなどを置かないでください。水がかかると漏電や故障のおそれがあります。
-  **煙突付近の可燃物接触厳禁**
煙突近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。火災のおそれがあります。ガスボンベや灯油タンクが排気出口周辺にある場合は各市町村の火災予防条例に従ってください。
-  **化学薬品を使用する場所での使用厳禁**
クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では、使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。

やけど・けが防止の禁止、注意事項



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(燃焼炉や煙突、ドーム、テーブル、枠組など)に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。



スパイラル部接触禁止

燃料タンク底部のスパイラル部には絶対に手を触れないでください。けがをするおそれがあります。



ドーム内部へ手を入れない

食材などをこぼした際に慌てて、ドーム内部に手を入れないでください。やけどのおそれがあります。ピールなどで除去してください。



やけどをしてしまったら

応急処置として、速やかに患部を流水で30分以上冷やしてください。

電源についての禁止、注意事項



電源の接続

電源は適正配線された单相100Vのコンセント以外は使用しないでください。発熱・発火の原因になります。電源コードは途中で分岐・接続したり、他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。発熱・発火の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。濡れた手で抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

ときどき電源プラグを抜き、ホコリ及び金属物を除去してください。ホコリがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。コード破損や火災、感電の原因になります。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないとき又は保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。

お手入れ時の禁止、注意事項



完全に冷えてから

必ず完全に冷えてからお手入れを行ってください。やけどをするおそれがあります。
※ドーム内は冷えにくいのでご注意ください



研磨剤を使わない









研磨剤は使わないでください。傷がつくおそれがあります。



水をかけない、水洗いしない

ドーム・燃焼炉・タンク部等に水をかけないでください。漏電ややけどをするおそれがあります。

事故や故障防止の禁止、注意事項

-  **運転中燃料タンクフタ開放厳禁**
燃料タンクふたを開けたまま運転しないでください。異物混入により、スパイラル部故障の原因となる可能性があります。
-  **煙突先端に金網など付けない**
煙突先端には、虫よけのための金網などは付けないでください。排気の妨げになり異常燃焼を起こす可能性があります。
-  **かん合部の外れ厳禁**
燃焼炉扉や燃料タンクふた、ドームなどが確実に設置されているか確認してください。外れ・すき間があると異常燃焼のおそれがあります。
-  **異常時使用厳禁**
万一異常を感じたときは、使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。
-  **煙突先端の閉塞危険**
煙突先端の周りが塞がれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中にドーム開口部から排ガスが漏れて危険です。
-  **分解修理厳禁**
故障・破損した場合は直ちに使用を中止し、修理が完了するまで使用しないでください。弊社指定販売店以外による不完全な修理は危険です。弊社またはお買い求めの販売店へご連絡ください。
-  **煙突外れ危険**
煙突が外れたままの状態で使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが漏れて危険です。
-  **異物混入禁止**
燃料タンクに木質ペレット以外の異物を混入しないでください。スパイラル破損のおそれがあります。

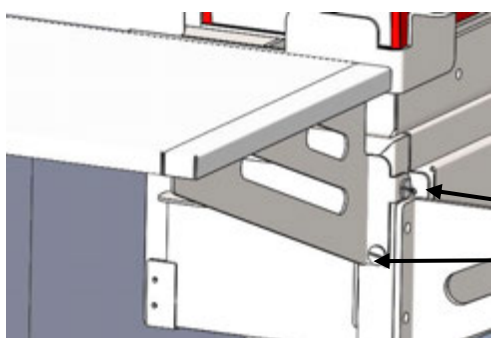
保管時の注意事項

- ・保管時は雨や雪にあたらぬ場所で保管ください。雨や雪によって漏電を起こす可能性があります。
- ・湿気のないところ、夜露が発生しないところで保管してください。結露水により部品の破損や異常腐食などを引き起こす可能性があります。
- ・長期間ご使用しない場合は、燃料タンク内、ペレット送り部のペレットを空にしてください。残ったペレットや粉が水分を吸い、内部のサビやペレット送り部の故障の原因となります。(P7参照)

テーブルの脱着 テーブルは、テーブルステー2本で固定しています。脱着可能です。

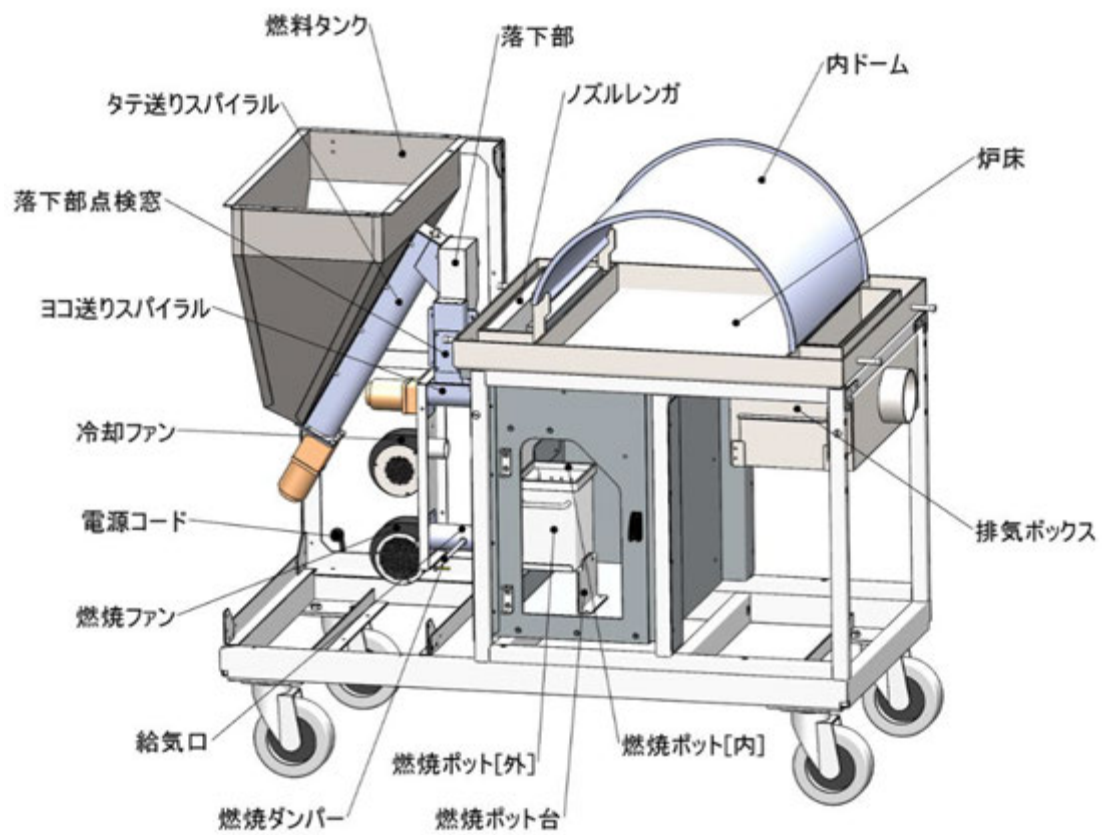
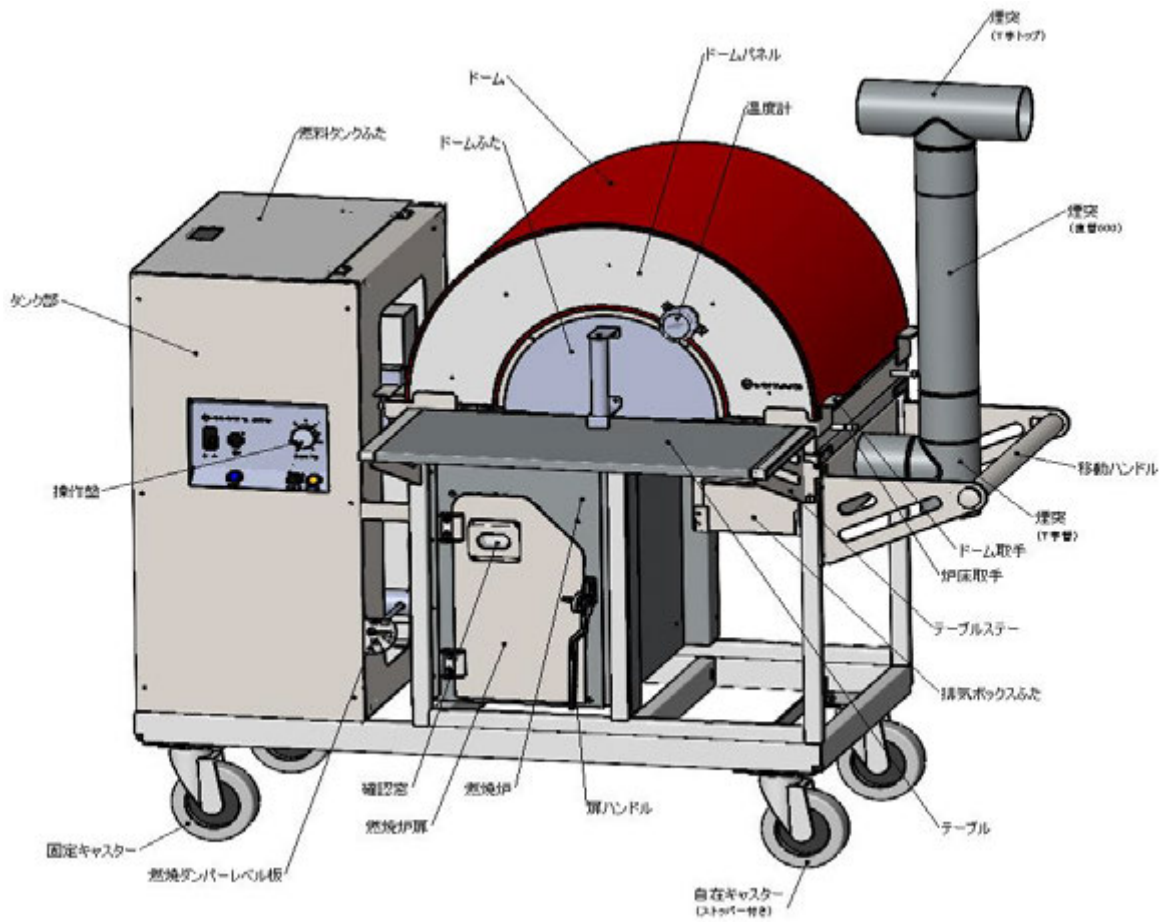
(取付方法)

- ①テーブルステーのカギ部分を、本体ステンネジ部分(2か所)に引っかけて固定する。(左右同様)
- ②テーブルをテーブルステーに上からはめるように押し、固定する。



テーブルステーを引っかける2か所

2、各部の名称



3、ご使用方法

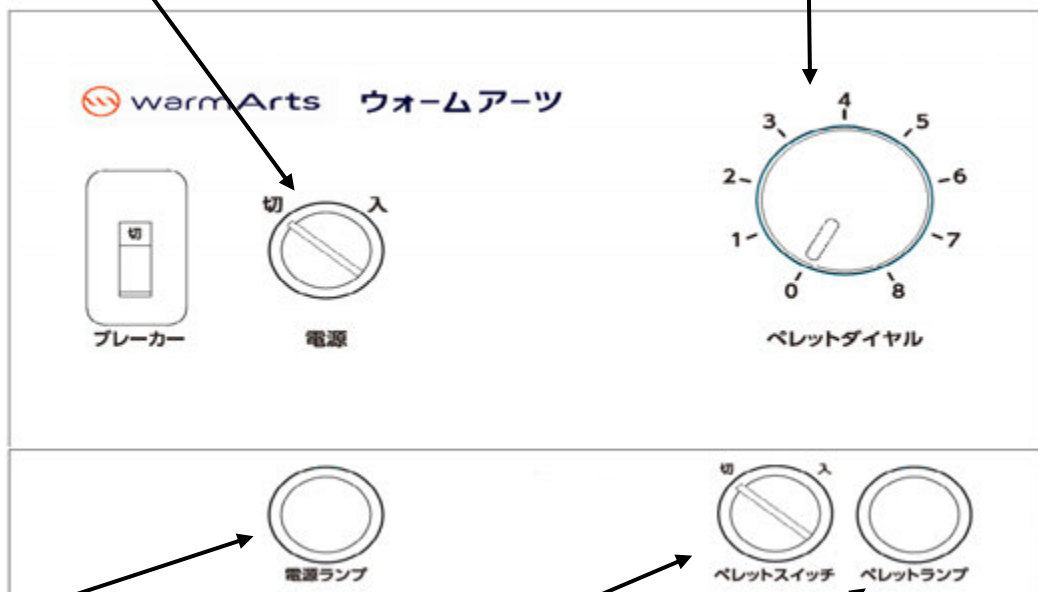
操作盤

電源スイッチ

電源スイッチを「入」にすると電源ランプが点灯し、
燃焼ファン、冷却ファン、ヨコ送りスパイラルが作動
します。

ペレットダイヤル

燃料供給量を無段階で調整します。
※ペレットスイッチを「入」にしていないと
作動しません。



電源ランプ

電源スイッチの入り切りで、点灯・消灯
します。(青色)

ペレットスイッチ

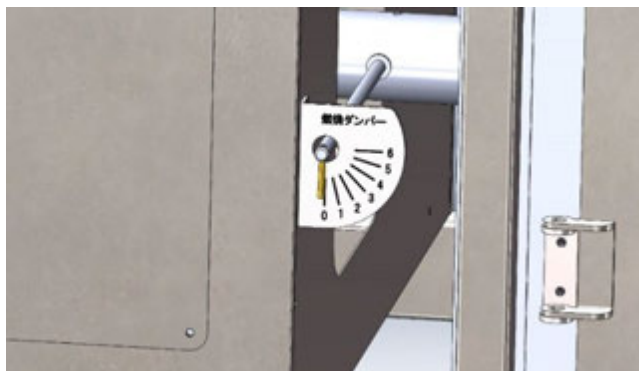
ペレットスイッチを「入」にするとペレットランプが点灯し、
タテ送りスパイラルが回転、燃料投入が開始されます。

ペレットランプ

ペレットスイッチの入り切りで、点灯・消灯し
ます。(オレンジ色)

給気調整

ペレット投入量に合わせて給気の調整を、燃焼ダンパーで調整してください。
目盛の数字が大きいほど、給気量が多くなります。
※メモリを0に合わせても給気量は完全に0になりません。
使用中多少は火の粉がドーム開口部から出てきます。(異常ではありません。)
比重の軽いペレットや、給気量が多いとドーム開口部から火の粉が多く出てきます。



使用前確認

※上から順番におこなってください。

【状態確認】

- ①自立キャスターのストッパーをONにし固定します。
- ②ドーム内側に付着したスス・灰を付属の掃除用ほうきで払い、炉床に落ちたスス・灰を取り除きます。
- ③燃焼炉扉を開き、燃焼炉内の掃除します。
- ④燃焼ポット[内・外]の灰、煤を取り除きます。掃除後ガタツキがないよう、しっかりセットします。
- ⑤燃焼炉扉の確認窓ガラス部分の内側・外側を拭きます。
- ⑥燃料タンク内に異物が無いことを確認し、燃料タンク内にペレットを入れます。

【電源を入れての確認】

- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。(本体からコンセントまでの延長コードを用意してください)
- ②ブレーカーを「入」の状態にします。
- ③電源を「入」にして、電源ランプが点灯するか、ファンが動いているか(風や音で)確認します。
- ④燃焼炉扉を開け、ヨコ送りスパイラルが回転しているか目視で確認します。
※ヨコ送りスパイラルは燃焼ポット上部にあります。
- ⑤ペレットスイッチを「入」にし(ペレットランプ点灯)、ペレットダイヤルを「8」にあわせて、ペレットが出てくるか確認します。
※初めてのご使用時や、ペレットを燃料タンクに入れたばかりの時は、タテ送りスパイラルにペレットが充てんされるまで約10分ほど時間がかかります。
- ⑥燃焼炉へのペレット投入が確認出来たら、ペレットスイッチを「切」にします。(ペレットランプ消灯)
- ⑦ペレットダイヤルを「0」にします。

点火

- ①ペレットひと握りを燃焼ポット[内]に入れます。
- ②着火材に火を点け、火がなじんだら燃焼ポット[内]に投入します。
- ③電源を「入」にします。(電源ランプ(青色)点灯)
- ④ペレットスイッチを「入」にします。(ペレットランプ(オレンジ色)点灯)
- ⑤ペレットダイヤルを少し右へ回し、少量のペレットを連続投入させます。
※点火手順時はペレットダイヤルのメモリ1を超えないようにしてください。
(点火時に多少の白煙は発生します。ドームふたを閉めることで、そこからの煙を軽減できます。)
- ⑥炎が大きくなってきたら、ペレットダイヤルを右に回し火力を上げます。
- ⑦火力に合わせて、燃焼ダンパーを開け給気量を合わせます。
- ⑧燃焼炉扉を閉めます。

火力調整

火力(温度)の調整はペレットダイヤルと燃焼ダンパーでおこなってください。
ペレットダイヤルは燃料投入量の調整、燃焼ダンパーは、給気量を調整できます。
目盛の数字が大きくなると燃料投入量、空気供給量が多くなります。

※ペレットスイッチを「入」にしないとペレットは供給されません。
※高温燃焼が続くと、確認窓が焼き付き変色する場合がありますが、使用には問題ありません。
※粉の多いペレットを使用した場合、火の粉が出やすくなります。

消火

- ①ペレットスイッチを「切」にし(ペレットランプ消灯)、ペレットダイヤルを「0」にします。
- ②温度計の温度が100℃より下がったことを確認したら電源を「切」にします。(電源ランプ消灯)
※いきなり電源スイッチやブレーカーを『切』にしないでください。
各ファンモーターが停止し、異常燃焼や火災の原因となります。

燃焼中確認

- ・燃焼炉扉の確認窓で炎が立ち消えていないか確認します。
⇒立ち消えていたら、消火作業後、再着火してください。
- ・排気出口から黒煙や白煙が出続けているか確認します。
⇒ペレット投入量、給気量の調整を行ってください。

調整を行っても、黒煙や白煙がおさまらない場合は、使用を中止してください。
不具合、故障も考えられます。販売店へご連絡ください。

- ・燃料タンク内に十分なペレットがあるか確認します。(適時)
- ・炉内温度を上げたい時は、ドームふたを閉めます。(適時)
- ・炉内は温度差があります。調理時、温度差を利用して調理ください。
※炎に近く上部ほど高温になる傾向にあります。
- ・付属のピザピール等を使用して、炉内調理を行ってください。絶対に素手を入れないでください。
- ・炉床にスス・灰が落ちてきたら、付属のピザピール等を使用して、取り除いてください。

4、メンテナンス

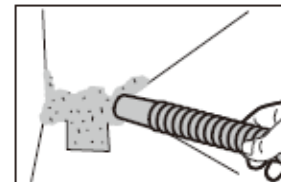
必ず冷めている状態、電源が「切」の状態でおこなってください。

毎着火時

- ・燃焼炉と燃焼ポット[内]内部の灰、煤を取り除き、燃焼炉扉の確認窓ガラスの内側・外側を濡れぞうきんで拭いてください。
- ・ドーム内側に付着したスス・サビを付属の掃除用ほうきで払ってください。
- ・炉床の灰を取り除いてください。

月1・2回程度

- ・排気ボックスに灰がたまっていたら取り除いてください。
- ・燃料タンク底部分にたまった粉を取り除いてください。
(燃料タンク内粉除去方法)
燃料タンク内のペレットを手ヤスコップ等である程度取り除いてから、たまっている粉を集塵機で吸い取ってください。
- ・煙突に付着しているススを取り除いてください。
(煙突掃除方法)
煙突T字管下部分のキャップを外してブラシ等で掃除してください。



年1回

お買い上げいただいた販売店による、有償メンテナンスの依頼をお願いします。
消耗品が劣化、破損している場合には消耗品交換が必要となります。

消耗品

※すべて税別価格です。

・燃焼ポット[内]	12,000円
・ドームふた	9,000円
・内ドーム	30,000円
・温度計一式	5,000円
・温度計ベース	1,700円

5、オプション品一覧

※すべて税別価格です。

品名・仕様	金額	
棚網 *釜下スペースを棚にできます。 サイズ／670×320mm 外枠、補強φ4 縦棒φ3 素材／SUS304	6,900円	
ピールかご *移動ハンドル固定金具部分にひっかけ、ピールを入れておくことができます。 真ん中仕切りあり。 サイズ／498×332mm(引掛け部含む) カゴ部分φ4 引掛け部φ5 素材／SUS304	19,600円	
本体カバー *本体をすっぽり覆うことができます。 本体との固定箇所あり (キャスター4カ所、本体下カバー) 脱着時開閉ファスナー3カ所あり カラー／黒 素材／生地:TH-3500 防炎加工 t=0.35mm	69,000円	
希釈配管 *排気温度を下げる効果がある (160℃以下に) 室内設置時に有効 サイズ／ φ106→φ150 素材／SUS304	9,200円	
ダンパー *排気調整用ダンパー サイズ／φ106 素材／SUS430	3,300円	
遮熱板 *燃焼炉部分からの熱を遮熱し、 前面(作業スペース)への放熱を軽減します。 *テーブルの下に少し入りこみます。 *三面式 側面をたたむことができます。 サイズ／正面1040×860、側面350×860mm 厚み1mm(広げた場合最大幅1750mm) 素材／板・アルミ 蝶番・SUS304	47,200円	

※仕様・価格は予告なく変更になる場合があります。

長期保管の場合

- ・ 燃焼炉内、ドーム内、煙突すべての箇所の灰・ススを取り除いてください。(P7、4メンテナンス参照)
- ・ 燃料タンク内、ペレット送り部のペレットを空にしてください。

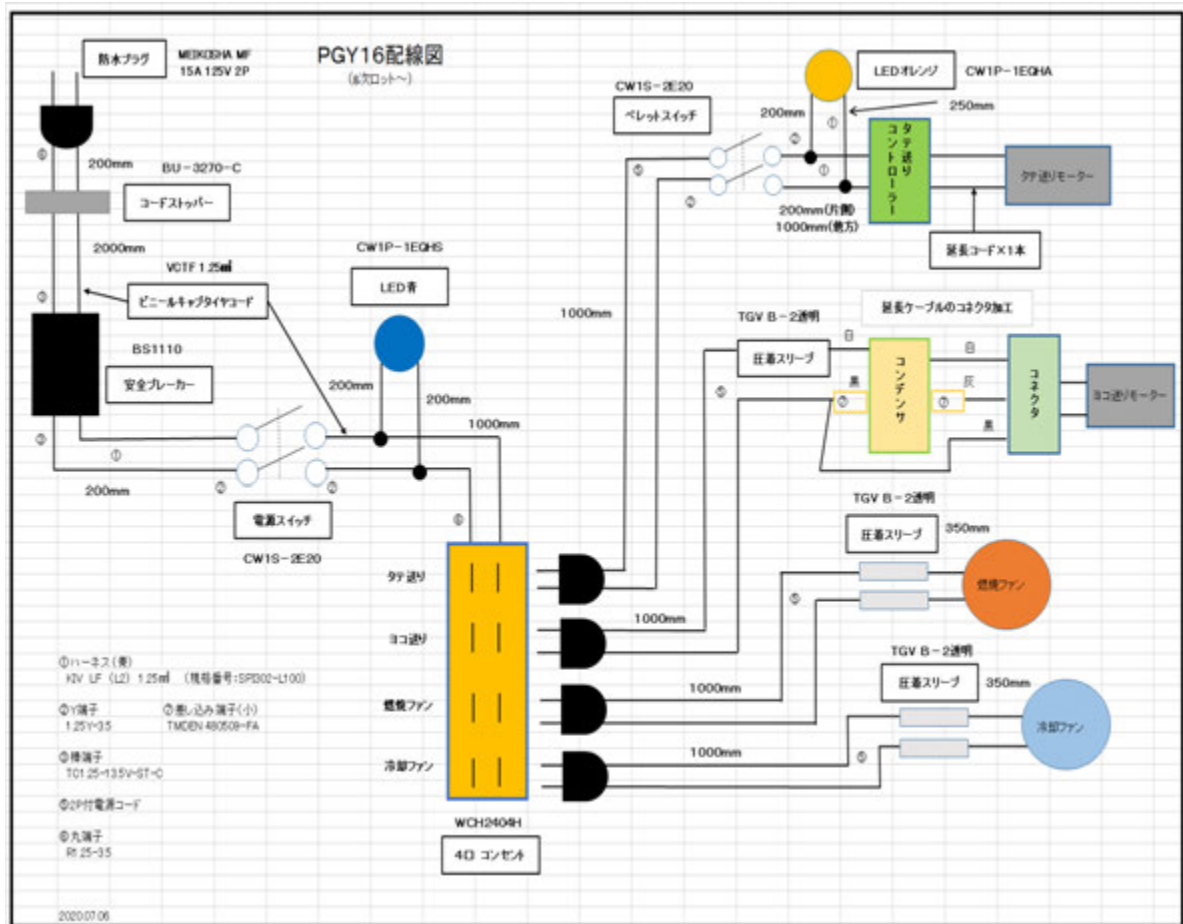
(ペレットを空にする方法)

- ① 燃料タンク内のペレットをある程度取り出してください。
- ② ブレーカー、電源スイッチ、ペレットスイッチを「入」にして、ペレットダイヤルの目盛を最大「8」に合わせます。
※ スパイラルに残っている取り切れなかったペレットを送り出します
- ③ ペレットが落ちてこなくなったらペレットスイッチ、電源スイッチを「切」にします。
※ ペレットダイヤルの目盛を「0」に合わせます。
※ 燃料タンク、燃焼炉内部に落ちてきたペレットや粉を集塵機で吸い取ってください。
- ④ ペレットが落ちてこなくなるまで②～③を繰り返してください。

手や集塵機のノズルを、タテ送りスパイラルに巻き込まれないように注意してください。

①の作業は電源スイッチを「切」の状態でおこなってください。

6、配線図



7、故障・異常の見分け方と処置方法

Q1. 点火できない、点火時燃焼炉内に煙が充満する

- ① 燃焼ポット[内・外]はしっかりセットされていますか？
燃焼ポット[内]の穴が詰まっていますか？ たまった灰・ススを取り除いてください。
また燃焼ポット[外]が正しくセットされていないと燃焼空気を正しく送れず、点火できなくなります。
冷めてから正しくセットしなおしてください。(P6使用前確認 参照)
- ② 着火時のペレット投入量が多くありませんか？
着火時に、炎が安定する前にペレットの投入量が多いと着火できない、もしくはいぶし燃焼となり
多量の白煙が出ます。着火時はペレット投入量を少なめに調整してください。(P6点火 参照)
- ③ 給気量は正しいですか？
着火時に給気量が多すぎると、ペレットが投入する前に種火が燃え尽きてしまうことがあります。
着火時は燃焼状態を確認し、燃焼ダンパーの開閉、レバーで給気量を調整してください。
(P6点火 参照)

Q2. ペレットが落ちてこない

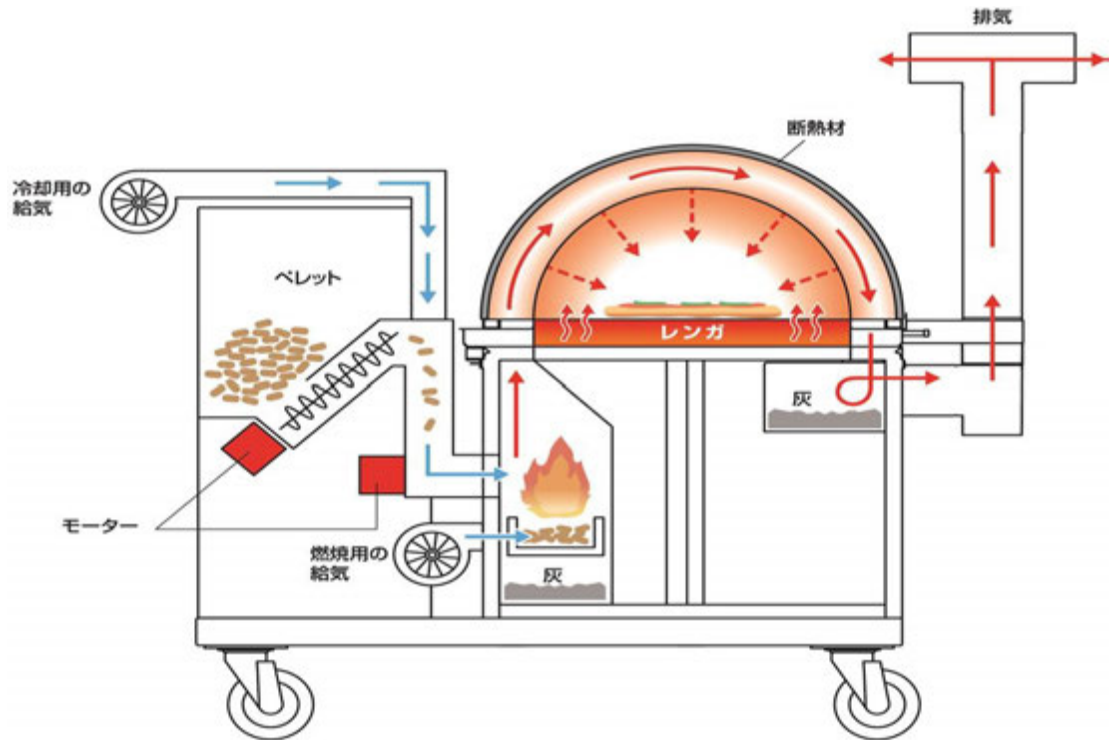
- ① 燃料タンク内に粉が溜まっていますか？
ペレットの粉が燃料タンクの下にたまってくると、ペレットをすくいあげることができなくなる場合があります。
燃料タンク底部分にたまっている粉を取り除いてください。(P7メンテナンス 参照)
- ② ペレットを燃料タンクに入れたばかりではありませんか？
初めてのご使用時やペレットを燃料タンクにいれたばかりの時は、タテ送リスパイラル部にペレット
が充てんされるまで、約10分ほど時間がかかります。
- ③ 燃料タンク内に空洞ができていませんか？
長めのペレットをご使用の場合、燃料タンク内で空洞ができてしまうことがあります。
燃料タンク内のペレットを上から押して、空洞をくずしてください。
- ④ 燃料タンク内の残量が少なくなっていますか？
燃料送り機構の性質上、タンク内のペレットを全量送り出すことができません。残量が空に近い
場合、ペレットが落ちてこなくなる場合があります。ペレットを補充してください。
- ⑤ 燃料タンク内に異物混入していませんか？
異物がペレット送り部に挟まったりすると、スパイラルを破損してしまうおそれがあります。
燃料タンク内からペレットを取り除き、確認し、異物を取り除いてください。
※破損があった場合は、そのまま使用せず、販売店へ修理依頼してください。

Q3. 運転中に消火(立ち消え)した

- ① ペレットの投入量が少なすぎませんか？
ご使用になるペレットの品質により送り出す量が異なります。
ダイヤルの位置にこだわらず、燃焼状態や温度計を確認しながら、火力調節してください。
- ② 燃焼ポットが燃え残りでいっぱいになっていませんか？
燃焼ポットが正しい位置にセットされていないと完全燃焼できず、炭化状態のペレットが燃焼ポット
いっぱいになり、消火(立ち消え)してしまいます。冷めたら正しくセットし直してください。
ペレットの投入量が多過ぎたり、燃焼しにくいペレットをご使用の場合も、同じ状態になります。
ペレットの投入量や給気量を調節してください。
- ③ Q2の①～④が原因でペレットが落ちてこないのではありませんか？

Q1～Q3をおこない、それでも解消しない場合はお買い求めいただいた販売店へ
ご連絡ください。

8、燃焼のしくみ



9、製品仕様

warmArts ペレット窯 PGY16 製品仕様		
使用燃料	ペレット種類	木質ペレット（パークは除く、6～7mm対応） 使用ペレットによる設定調整は不要
サイズ	外形寸法 ※1	約W1600×H1550×D1030mm（煙突・テーブル・移動ハンドル込み）
	重量	約 330kg
構造	構造	燃焼炉・燃料タンク分離型・ドーム
	タンク容量 ※2	約 30kg
燃焼能力	燃料投入量 ※2	最大 3kg/h（無段階調整）
操作方法	点火方式	手動点火（点火作業は5～10分）
	温度調節	ペレットダイヤルにて、ペレット供給を調節（無段階調節）
電力	電源	AC 100V 50Hz・60Hz
	消費電力	約 100W
メンテナンス	灰除去	炉内に灰が溜まったら（毎点火前）
	排気ボックス	排気ボックスに灰が溜まったら（適時）
	T字管掃除	T字管内に灰が溜まったら（適時）
	保守メンテナンス	1年に1回 販売店による保守メンテナンス

※1 煙突、テーブルは脱着可能

※2 使用する燃料の品質により変わります

※本体付属品

- ・ピザピール
- ・掃除用ほうき

（専用ではありません。お客様のご使用状況に応じてご用意ください。）

10、メモ

保 証 書

品名	ペレット窯	型番	PGY16
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
保証期間	お買い上げから 本体1年間(消耗品は除く)		
お客様名			
ご住所	(〒 -) (電話)		
販売店名			

※本保証書は、上記の各欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご記入の有無をご確認ください。

《保証事項・無料修理規定》

1. 取扱い取扱説明書の注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には販売店または弊社が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 1) 本保証書をご提示されないとき。
 - 2) 本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、及び販売店の表示がないとき。
 - 3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障、及び損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等、お取扱いが不適当なために生じた故障、及び損傷。
 - 5) 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取扱いによって発生した故障、及び損傷。
 - 6) 改造またはご使用の責任に帰する認められる故障、及び損傷。
 - 7) 消耗品の交換。
4. 本製品故障または、その使用上で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、当社はその責に任じません。
5. 本製品が、ご贈答で修理を依頼される場合、あるいはご転居後に修理を依頼される場合は本保証書に記載された販売店、または弊社へご相談ください。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件にもとにおいて無料保証修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、詳しくはお買い上げの販売店あるいは弊社までお問い合わせください。



株式会社 新越ワークス
エネルギー事業部

〒959-1286 新潟県燕市小関681番地
TEL(0256)64-8580(代)
FAX(0256)63-7977

受付時間：祝祭日を除く平日9:00～17:00